

平成28年度 札幌自由が丘学園三和高等学校 学校評価結果

和寒町教育特区学校審議会条例第2条第1項第4号により、三和高等学校について、平成28年度の学校運営全般の状況について同校から提出された資料やスクーリングの視察等を通して下記のとおり評価を行いましたので結果を町長に報告します。

評価項目		評価の視点	評価	所見
1	各教科の状況	教育課程の適切な運用と状況 教科指導の状況 進路指導の状況	良い	学習内容は、全日コース・月1コースともに生徒の特性に合わせたカリキュラム編制が行われ、生徒も楽しみながら学習に取り組んでいる。特に、学カ一辺倒ではなく、多様な体験を個の体感まで高め価値観の変容につなげている点は高く評価できる。進路指導においてもその考えが活かされ、確かな目標設定のもとに将来への見通しを持たせ医療機関等との連携を密に進めている。今後は、外部人材を活用した本校での教育活動や図書館の整備、その利活用を望む。
2	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況 要望等の状況	優れている	スタートラインの違いを最大のチャンスとし、生徒一人ひとりの個性や生育を尊重しながら関わり、寄り添い、導き、見届けながら自己決定力を高めている点は高く評価できる。そのため、生徒は焦ることなく自分を見つめながら自己存在感・自己有用感を高め、生徒同士の共感的人間関係を育てている。今後、キャリアの視点を生かした生徒指導の展開を期待する。
3	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	本校は、旧三和小学校時代の校舎や施設設備を受け継いでいる。その点では、他の高等学校の建物と何ら遜色はない。スクーリングのみならず、学校管理の継続性を含めた活用方法を検討する時期に差し掛かっている。学校の教育目標達成に向けて、情報交換を密に行い同じ目線で生徒の教育に当たり人格の完成を目指していくことを期待する。
4	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	「和寒町教育特区学校審議会」を通して、適切な手順のもとに学校(運営全般や生徒状況等)の報告を受け、「後援会」を窓口に関地の要望を受け教育活動に生かしている。また、後援会を通じた支援の輪が広がっている点は、学校にとって連携のチャンスとなっている。今後、様々な人との関わりを意識した新たな発想での教育活動の拡充を望む。

5	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	良い	和寒町のフィールドを生かした活動は、生徒の心に希望・信頼・愛情・勇気を育んでいる。そのため実施後の感想には、必ずと言っていいほどそのことに触れている。このことは、学習活動が生徒の成長の糧となり将来への展望につながっていることを表している。今後も、本町の教育資源を大いに活用して、教育成果を高めたい。
6	町との連携協力の状況	町への現状報告及びセーフティネット対策の状況	良い	今後、構造改革特区基本方針の改正を受けて、株式会社立学校制度の運用改善が図られる。その点を踏まえた改善のためには、更なる連携が不可欠である。あらゆる事態を予測したセーフティネットの確立と体制づくりを期待する。

総合所見	三和高等学校評価基準に基づき総合的に評価を行った結果、教育課程等の実施や生徒指導・進路指導において、スタートの異なる生徒一人ひとりの特性に応じた指導が展開され、また、和寒町のフィールドや人材を活用した体験活動を生徒の体感まで高め、生徒の心に灯を点している点は大いに評価できる。今後は、添削指導、面接指導、試験の在り方を工夫し、キャリアに視点を合わせた本町での教育活動の展開に期待する。			
------	--	--	--	--

評価については、「模範的」、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」の基準で評価しています。